

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	
①	1 20点	(1)		知識理解			○道具名を正しく記述している。 ・せんたく機	3	
②				知識理解			○道具名を正しく記述している。 ・ほうき　・ちりとり ※ほうきのみは可，ちりとりのみは不可。	3	
③				思考判断表現	○利便性について記述しているが，具体的ではない。 ・かんたんになったよ。  ※道具の変化に触れていない記述は不可。おいしいご飯がたける等は不可。	3	○炊飯器の利便性を具体的に記述している。 ・水とお米を入れるだけで自動で（ひとりで），ご飯をたけるようになったよ。 ・火を使わなくても，電気さえあれば，だれでもかんたんにご飯がたけるようになったよ。	5	
④			(2)		技能	○1つの言葉のみを使用して，「時間」の短縮と仕事が「かんたん」になったことを記述している。 ・仕事の時間が短くなった ・仕事がかんたんになった	4	○2つの言葉を使い，「時間」の短縮や作業が「かんたん」になったこと，また，余暇の「時間」が増えたことなどについて記述している。 ・仕事がかんたんになり，それにかかる時間も短くなった ・仕事がかんたんになり，ほかのことをする時間がふえた	6
⑤			(3)		関心意欲態度	○道具のよさは記述しているが，具体的ではない。 ・（せんたく板）は，きれいになる。 ・（かま）は，ご飯がおいしくたける。	1	○「せんたく板」か「かま」のどちらかを選び，そのよさについて，学習や自分の経験等からの具体的な事例をもとに記述している。 ・（せんたく板）は，少しのせんたく物やよごれがひどい時，あるいは部分的に洗う時にべんりである ・（かま）は，今もお店でも使われているように，火かげんをちょうせいしてご飯をたくことができる	3
⑥	2 30点	(1)		技能	○空きびんが，資源ごみであることを理解して記述している。 ・金よう日 ・8時30分まで	3	○空きびんが資源ごみであることを理解し，資料を適切に読み取って記述している。 ・金よう日の午前8時30分まで。 ※各学校等の状況により，空きびんを燃えないごみとして解答している場合も可とする。	4	
⑦			(2)		思考判断表現	○洗って出すことについて自分なりの意見を記述している。 ・洗って出すときれいになるから。	3	○リサイクルや再利用が容易になることを記述している。 ・再利用しやすくなるから。 ・リサイクルしやすくなるから。 ※衛生面についての記述も可。	5
⑧			(3)		知識理解			・ペットボトル→服やバッグ	2
⑨							・スチールかん→鉄せい品，鉄の柱	2	
⑩							・牛にゆうパック→トイレットペーパー	2	
⑪			(4)	ア	技能			○ひご市の人口のグラフの変化を読み取って記述している。 ・ふえて ・増加して	4
⑫				イ	技能			○グラフの数値を適切に読み取って記述している。 ・800	4
⑬				ウ	思考判断表現			○グラフを関連付けて考え，もやすごみの量が減った理由を記述している。 ・リサイクル ・再利用	4
⑭			(5)		関心意欲態度	○自分にできることで，ごみを減らす取組を記述しているが，具体的ではない。 ・みんなに呼びかける。	1	○自分にできることで，ごみを減らす取組を具体的に記述している。 ・学習発表会でごみをへらすように呼びかける。 ・ごみしゅう集場に，ポスターをはる。 ・学習したことを新聞にまとめて，地いきの人に配る。	3
【授業改善の視点】 廃棄物の処理や再利用の様子について，複数の資料やグラフから必要な情報を読み取り，関連付けて説明したり，自分の考えをまとめた りする言語活動を積極的に取り入れる。									
⑮	3 17点	(1)		知識理解			○各学校の学習状況に合わせて，当てはまるところに○をつけたり，その他の〔 〕に適切な言葉を記述している。 その他：湖，山の水　等	3	
⑯		(2)		技能	○「砂や小石」「消どく」のどちらか1つを使って，浄水場のはたらきについて記述している。 ・取り入れ口から送られてきた水の中の砂や小石などを取ります。 ・取り入れ口から送られてきた水を消どくをします。	4	○浄水場のはたらきについて，「砂や小石」「消どく」という言葉を使って，適切に記述している。 ・取り入れ口から送られてきた水の中の砂や小石などを取って，そのあと，消どくをしてきれいな水を作ります。	6	

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況	配点	
⑰	3	(3)	①	技能	○熊本県、九州の平均、福岡県の2つを比較して記述している。 ・熊本県は、福岡県よりも多くの水道の水を使っていること。 ・福岡県は、熊本県よりも水道の水を使っていないこと。 ・熊本県は、九州の平均と同じくらい水道の水を使っていること。 ・熊本県は、九州各県の平均より水道の水を多く使っていること。 ○熊本県、九州の平均、福岡県を比較せずに記述している。 ・熊本県は水道の水を多く使っていること。 ・福岡県は水道の水の使用量が少ないこと。	3 2	○熊本県、九州の平均、福岡県の3つの比較から判断できることを記述している。 ・熊本県は、九州の平均や福岡県よりも多くの水道の水を使っていること。 ・福岡県は、熊本県や九州の平均よりも使う水道の水が少ないこと。 ・熊本県は九州の平均と同じくらいで、福岡県よりも多くの水道の水を使っていること。	5
⑱			②	関心 意欲 態度	○水を大切に使うために、自分が取り組んでいきたいことを記述しているが、具体的ではない。 ・水を出しっぱなしにしない。 ・水をためて使う。	1	○水を大切に使うために、自分が取り組んでいきたいことを考えて具体的に記述している。 ・歯みがきの時は、水道の水を出したままにせず、コップにくんだ水を使う。 ・雨水をためて、花だんの水やりをする。 ・そうじの時は、バケツに入れた水を使ってぞうきんを洗い、使う水をへらす。	3
【授業改善の視点】 水資源の確保と自分たちの生活とのかかわりについて、飲料水を供給する仕事に携わっている人に聞き取り調査をしたり、浄水場などの施設を見学したりした後に、水資源の有効活用等について意見を出し合ったりするような言語活動を効果的に取り入れる。								
⑲	4 3 3 点	(1)		知識 理解		・う	2	
⑳				知識 理解		・あ	2	
㉑				知識 理解		・い	2	
㉒ ㉓		(2)	技能	○どちらか1つを正しく書いている。 ・(地いきの) 消防団 ・(火じにそなえて) 練習 ・(火じにそなえて) くん練	3	○火災に備えた消防団の消防訓練（練習）であることを読み取っている。 ・(地いきの) 消防団、(火じにそなえて) 練習 ・(地いきの) 消防団、(火じにそなえて) くん練	6	
㉔		(3)	関心 意欲 態度	○題意に沿って、考えたことを記述しているが、具体的ではない。 ・火に気をつける。 ・火事を起こさないようにする。	1	○火事を防ぐために、自分が家庭や地域でできる現実的な消防活動を具体的に記述している。 ・花火をする時は、水などを用意して火事にならないように気をつける。家の方といっしょにする。 ・子ども会の活動などにさんかして、火の用心を呼びかけ、地いきの火事をふせぐ。	3	
㉕ ㉖		(4)	思考 判断 表現	○選択した記号は適切であるが、理由が具体的ではない。		○選択した記号が適切で、理由も道路等の状況に即して具体的に記述している。		
				<div><div>A</div><div><div>㉞</div><div>・交差点はあぶないから。 ・車があぶないから。</div></div><div><div>㉟</div><div>・交差点はあぶないから。 ・車があぶないから。</div></div></div>	3	<div><div>A</div><div><div>㉞</div><div>・大きい交差点で、人がおうだんする場所が決まっていないとあぶないから。 ・道路に出ないようにすれば、じこにあうことも少なくなるから。</div></div><div><div>㉟</div><div>・急なカーブなどもあり、ちがう道から来る車などがよく見えないとあぶないから。 ・車などが歩行者の道に入ってくるとあぶないから。</div></div></div>	5 5	
㉗ ㉘ ㉙ ㉚	(5)	思考 判断 表現	<div><div><div>交番</div><div>消防うしよ</div><div>通信しれい室</div><div>けいさつしよ</div><div>パトロールカー</div><div>じこの場所</div></div><div>○ 1つの矢印の正解につき各2点</div></div>				8	